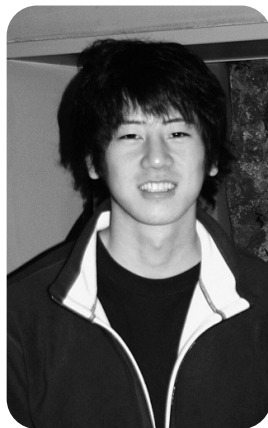




活き活きと泳ぐ
魚たちのために

高倉 類 さん (登別東町)



わたしは『マリンパーク』に入社して1年目の新米ですが、歩みは短くとも飼育者としての今までを振り返る良い機会だと思ひ筆を取らせていただきました。

今、わたしは暖かい海に生息する魚類などの飼育を担当しておりますが実は、専門学校でイルカやアシカなどの海洋哺乳類を学んでいたため、魚類の飼育はゼロからのスタートとなりました。ですが、上司の方々の親切で丁寧な指導のおかげで、少しずつ新たなことを覚え、成長していくことができました。

とはいえ、まだまだ知識や経験技術が至らないため、生物の命を奪ってしまうこともあります。

新年を迎えたわたしの今年の目標は死なない飼育だけではなく、生き生きとした展示をするということです。

今のわたしの飼育技術では、ただ生物を死なせないということだけで

その生物の暮らしぶりが伝わってきません。毎日の活き活きとした姿が見る人に伝わるような飼育をして、生きていくことの美しさ、尊さを感じてもらえるよう、努力していきたくと思っています。

憧れる先輩になるために

梶田 有紀 さん

(登別明日中等教育学校2回生)



わたしは去年の春から、生まれて初めて『後輩』ができ、晴れて『先輩』となりました。

初めはわたしに『先輩』という役割が務まるのだろうか、とても不安でしたが、実際は『先輩、先輩』と呼んでくれたり、すれ違つたと『こんにちは』など、元気いっぱい挨拶が返つてきたりして、不安なんて吹っ飛んでいってしまった。

ただ、わたし自身、わたしの思い描く『憧れの先輩』とはちよつと違う気がします。わたしが憧れる大好きな先輩は、勉強と部活を両立して、後輩思いで、とにかく何でも

完璧にできるような人です。

その先輩とわたしを比べると、わたしなんて足元にも及びません。こんな身近に素晴らしいお手本があるのに、わたしはそれを無駄にしているような気がします。

今年は2歳下の後輩が入ってきました。大好きな先輩を見習って、今年とは違う『憧れる先輩』になりたいです。

あいさつ溢れる町

東田 渉 さん

(登別明日中等教育学校5回生)



早くも1年が終わり、また新しい年を迎えました。わたし自身、去年を振り返ってみて、一つうれしかった出来事がありました。

『行ってらっしゃい』、『おはよう』と毎朝登校中に、近所の方がわたしに声を掛けてくださいます。はじめは知らない人だからと戸惑っていましたが、今はその掛けてくださる声が好き、わたしの毎日のエネルギーになっていきます。

わたしの住む登別では、朝、地元

の方々がわたしたちの安全のために手助けをしてくださっています。そんな方々へ面と向かって『ありがとうございます』と声をかけたいです。『行ってきます』と元気に言えるようになっていきます。

あいさつは簡単で当たり前のことだからこそ、しっかりとしていきたいと思ひます。あいさつは言っても言われても気持ちの良いものです。今年も去年より多くの人にあいさつをして、たくさんの人に良い気持ちになっていただくことが、今年のわたしの目標です。

ここ登別で、
がんばります

船橋 さなえ さん (中登別町)



▲中央が船橋さん

わたしがここ、『登別伊達時代村』に入社してはや9カ月が過ぎました。ここはわたしにとって、初めての職場であり、小さな頃の思い出の場